

I 令和6年度事業計画書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

当財団は、NPO活動やボランティア活動、生涯学習をはじめとする県民の諸活動の支援、高齢者の生きがいづくりや地域参加の促進及び就業機会の提供に関する事業を通じて、あらゆる世代が共に支え合う豊かな埼玉の発展に寄与するという社会的使命を有している。

猛威を振るった新型コロナウイルス感染症は感染症法上の位置付けが季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に変更となり、県民活動の回復や事業活動の再開による就業機会の拡大など、社会経済活動の正常化が進んでいる。そのような中、財団ではポストコロナを見据えて各事業に取り組んでいく。

県民活動の支援に関する事業では、NPO活動や市民活動を支援するため、NPOの運営や活動に必要な知識を学ぶ各種講座を実施するほか、仕事や生涯学習の成果として培った知識や技能を地域に還元するボランティア講師の養成に取り組み、県民活動の活性化を図る。また、利用者のニーズに対応しオンラインで受講できる講座の拡充を図る。

県民活動団体への支援として、彩の国市民活動サポートセンター（愛称：たまサポ）を運営し、NPO・ボランティア活動に関する相談対応・情報提供の実施や市町の市民活動サポートセンターの支援などを行う。また、県内NPO法人等の活動状況の報告や課題解決に向けた交流の場となるNPO法人の交流会を開催する。

県民活動総合センターでは、引き続き感染症の発生や感染拡大を防止する対策を徹底するとともに、施設・設備の定期的な保守点検、劣化診断調査等を行い、利用者へ安心・安全なサービスを提供していく。また、改修工事により休止していた食堂をリニューアルオープンするとともに、コンビニエンスストアを新たに設置することにより、利用者の利便性向上を図り、施設の更なる利用促進に努めていく。

高齢者の生きがいづくりや地域参加及び地域貢献の促進に関する事業では、高齢者の元気・自立を支援し、地域の担い手となるシニアを育成するため、埼玉未来大学を運営する。埼玉未来大学には、「ライフデザイン科」と「地域創造科」の2科及び「専門講座」を設置し、高齢者の多様なニーズに応えていく。また、たまサポと連携してNPO等の地域活動団体とのマッチングなどを実施し、卒業後の地域デビューを支援する。加えて、令和6年5月から運用開始する高齢者の運転免許講習施設「岩槻高齢者講習センター」において、シニアを対象とした社会参加や健康づくりを促進するコンテンツを提供する。

就労意欲のある高齢者の雇用・就業及び能力活用の促進に関する事業では、多様な就業機会の確保やシルバー人材センターの入会促進により、働くことを通じた高齢者の生きがいの創出を支援する。また、就労支援の拠点であるシルバー人材センターの運営基盤を強化するため、国庫補助金の交付を行うとともに、専門家による相談体制の整備や職員研修等を実施する。さらに、広報の強化による女性会員の拡大や安心・安全に働くための技能講習の充実など会員の獲得や就業機会の拡大に向けた取組を効果的に行う。

なお、今後、継続的に各事業を適切に実施していくためには、財団において優秀な人材の確保と職員の士気の向上が課題である。このような観点から、財団の経営状況も踏まえながら、給与その他の勤務条件の見直しについて県と協議しながら鋭意検討していく。

I - 1 事業の概要

1 県民活動の支援に関する事業

(1) 埼玉県県民活動総合センターの運営

ア 施設の利用促進

キャッシュレス決済の充実やインターネットによる施設の利用受付時間の拡大など、施設の利便性の向上に努める。また、試験会場、企業研修の場としての利用や宿泊と組み合わせた利用等の誘致を行うとともに、広報・営業活動を強化することで、更なる施設の利用促進を図っていく。

イ 施設・設備の適切な運営・管理

丁寧な清掃や計画的な修繕、定期的な保守点検の実施により、安心・安全で快適な施設の運営・管理に努める。

ウ 施設の利便性向上

食堂をリニューアルオープンするとともに、新たにコンビニエンスストアを設置し、利用者の利便性向上を図る。また、食堂、コンビニエンスストア及び自動販売機の運営・管理を一体的に行うことで、継続的かつ安定的なサービスを提供する。

(2) 県民活動支援のための講座開催

ア NPO活動などを支援する講座

NPOの運営や共助の取組などを学ぶ講座を実施する。

イ ボランティア講師を養成する講座

仕事や生涯学習の成果として培った知識や技能を地域に還元するボランティア講師を養成するための講座等を実施する。

ウ いきいき生活講座

教養を深め、生活を豊かにする講座を実施する。また、利用者のニーズに対応し、オンラインで受講できる講座の拡充を図る。

(3) 県民活動団体への支援

ア 彩の国市民活動サポートセンターの運営

NPO活動や市民活動に関する相談対応・情報提供を行うとともに、「埼玉市民活動サポートセンターネットワーク」事務局として、市町の市民活動サポートセンター職員を対象に研修会を実施する。また、市民活動コーディネーターによる伴走支援を強化するほか、NPO法人間の交流会の実施やNPO法人と他の団体・企業等とのマッチング支援を行う。

イ 情報センターの運営

県民活動に関する図書・資料を収集・提供するとともに、生涯学習・県民活動に関する企画展示を実施する。

ウ 県民活動団体支援事業

NPO法人などと協働で事業を実施し、団体の活動が一層活発なものになるよう支援する。

エ 次世代育成支援事業

子育て支援を行う団体と連携し、地域の子育て力を高める講座を実施する。

オ 彩の国いきいきフェスティバルの開催

県民活動団体の活動成果の発表の場、世代を超えた交流の場を提供するとともに、NPO・ボランティア活動に関する講演会を開催する。

2 高齢者の生きがいづくりや地域参加及び地域貢献の促進に関する事業

(1) 埼玉未来大学の運営

高齢者の元気・自立を支援し、地域の担い手となるシニアを育成するため、埼玉未来大学を運営する。

ア ライフデザイン科

元気で自立したシニアライフを送るために必要な知識の学習やセカンドステージでの新たな活躍の場を見つけるための支援をする。

体を動かしながら体力・脳力を向上させるなどシニアの健康長寿の実現を図る。また、地域の課題等を学ぶとともに、担い手育成の強化のためフィー

ルドワークを取り入れ、シニアの社会参加を促進する。修業期間は1年間とし、県内5つの会場で開講する。

通学での学習が困難な方などにオンラインでの学習機会を提供する。

イ 地域創造科・専門講座

地域課題の解決に必要な地域の担い手を育成するため、NPOの立ち上げなど社会貢献を目指す「アクティブコース」及び社会的起業を目指すビジネス専門の「地域ビジネスコース」を開講する。

また、専門講座として活動に直結する実践的ノウハウが学べる8つの講座を開講する。

ウ 卒業後の活躍支援

地域活動を行う卒業生の活動報告会により地域活動への関心を高める。

また、彩の国市民活動サポートセンターとの連携により地域デビューを支援する。

エ 岩槻高齢者講習センターにおけるシニアの活躍支援

岩槻高齢者講習センターにおいて、シニアの社会参加・健康づくりを支援するため、運動機能の測定や埼玉未来大学の講座等のコンテンツを提供する。

(2) 高齢者生きがい支援事業の実施

ア いきいき創作展の開催

絵画や写真、書など、高齢者の日頃の文化創作活動の成果を発表する場として、いきいき創作展を開催する。

なお、優秀作品は、翌年度の全国健康福祉祭（ねんりんピック）の美術部門に出品する。

イ 全国健康福祉祭埼玉県選手団の派遣

高齢者の国体と呼ばれる第36回全国健康福祉祭（ねんりんピック）ととり大会に埼玉県選手団を派遣する。

3 就労意欲のある高齢者の雇用・就業及び能力活用の促進に関する事業

(1) 就業機会の提供

ア 就業開拓事業

就業開拓員により、サービス業等の人手不足分野や、介護、育児等の現役世代を支える分野での就業先の確保・拡大を進める。

イ 福祉・家事援助サービス推進事業

福祉家事援助サービスに従事するコーディネーターや会員の養成・育成を

図る。

ウ 労働者派遣事業（シルバー派遣事業）

シルバー派遣事業を適正に運営するため、派遣実施事務所との運営会議や実務者研修、派遣会員への研修等を開催し、情報の共有化と法令等の理解を高め、職員の資質向上を図る。

エ 有料職業紹介事業

各事務所において実施する有料職業紹介事業の適正な運営を推進する。

オ 高齢者活躍人材確保育成事業

高齢者・企業等の関心を喚起するため、シルバー人材センターに関する積極的な周知・広報を行う。また、シニアの就業意欲を高めるとともに、企業等のニーズに合った人材を養成するため、就業体験や技能講習を行う。これらの取組によりシルバー人材センターの会員拡大及び安心・安全に働くことができる新規就業を促進する。

(2) シルバー人材センターの支援

ア 活動拠点の支援等

県内のシルバー人材センターに対し、シルバー人材センター事業を展開・拡充するための助言や国庫補助金の交付を行う。

イ シルバー人材センターの役職員に対する研修

新任役職員研修や階層別職員研修等の実施を通じて役職員の資質向上を図るとともに、フレイル予防に関する研修をオンラインも活用して実施し、高齢会員等の健康保持を促進する。

ウ 団体運営、事業運営、会計処理等に関する相談

シルバー人材センター事業を円滑かつ適正に実施するため、専任の相談員や社会保険労務士等による巡回相談、弁護士等による相談体制を整備する。

エ 会員、就業機会の拡大に向けた普及啓発

ホームページやSNSなどを活用した効果的な手法により、シルバー人材センターの情報を広く発信する。特に、女性の会員拡大に向けて、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会とともに「シルボンヌ全国大会」を本県で開催するなど、女性をターゲットとした入会促進を進める。また、いきいきと働く会員の活動事例を紹介するなど、シルバー人材センターの就労を「生きがい就労」としてイメージの向上を図る。

オ 安全・適正就業会議、研修、大会の開催

事故防止、コンプライアンスの徹底を図るため、職員や会員を対象とした研修や安全指導を実施する。

カ シルバー人材センター運営資金貸付事業

シルバー人材センターの事業運営の円滑な推進を図ることを目的に、運営資金の貸し付けを行う。

(4) 附帯サービス事業【収益事業】		
<p>ア 飲食等提供事業 利用者サービスの向上のため、飲食等の提供を行う。 ▽県民活動総合センター内での食堂・売店・自動販売機の運営</p>	通年	—
<p>イ 駐車場の管理運営 利用者サービス向上のため、駐車場の運営を行う。 ▽県民活動総合センターの駐車場の管理運営</p>	通年	—
<p>ウ キャリアアップ支援講座開催 専門的知識やスキルを習得し、キャリアアップに役立つ講座を実施する。 ▽資格取得支援講座</p>	1回	20人
<p>エ 埼玉の魅力発信コーナー及びコピーコーナーの運営 埼玉にゆかりのある企画展示や県産品の紹介・販売を行い地域の魅力を発信する。 各種資料づくりに役立つコピー機、印刷機、製本機、紙折機等を設置する。 ▽埼玉の魅力発信コーナー ▽コピーコーナー運営事業</p>	通年	—
<p>オ その他、利用者の便宜を図るためのサービス</p>	通年	—

2 高齢者の生きがいづくりや地域参加及び地域貢献の促進に関する事業

実施事業	回数等	人数等
<p>(1) 埼玉未来大学の運営 高齢者の元気・自立を支援し、地域の担い手となるシニアを育成する「埼玉未来大学」を運営する。</p> <p>ア ライフデザイン科 健康長寿の実現と社会参加の促進を図ることを目的に、高齢者のニーズに沿ったカリキュラムやシニアの社会参加意識の醸成を図る。また、通学での学習が困難な方などにオンラインでの学習機会を提供する。 ▽通学コース【4～3月】5学園（東部・西部・南部・北部・中央） ▽オンラインコース【前期：5～9月、後期：10～3月】</p> <p>イ 地域創造科・専門講座 社会デビューに直結する高度で専門的なカリキュラムにより、地域の担い手を育成する。 ▽アクティブコース ▽地域ビジネスコース ▽専門講座 空き家・古民家等活用講座、援農ライフ講座、コミュニティカフェ開設講座、読み聞かせボランティア養成講座、地域観光ガイド養成講座 新 子どもの居場所～食学遊～づくり講座、スポーツイベントボランティア講座、地域あそびレクリエーション講座</p> <p>ウ 卒業後の活躍支援 卒業生の活動報告会や彩の国市民活動サポートセンターとの連携により地域デビューを支援する。</p> <p>新 エ 岩槻高齢者講習センターにおけるシニアの活躍支援 岩槻高齢者講習センター（令和6年5月開所予定）において、シニアの社会参加・健康づくりを支援する運動機能の測定や埼玉未来大学講座等の提供を行う。</p>	<p>5学園 2期</p> <p>2コース 8講座</p> <p>通年</p> <p>通年</p>	<p>500人 200人</p> <p>400人</p> <p>—</p> <p>—</p>
<p>(2) 高齢者生きがい支援事業</p> <p>ア いきいき創作展の開催 絵画や写真など、高齢者の日頃の文化創作活動の成果を発表する場を提供する。</p> <p>イ 全国健康福祉祭埼玉県選手団の派遣 第36回全国健康福祉祭（ねんりんピック）とっとり大会に埼玉県選手団を派遣する。</p>	<p>3日間</p> <p>4日間</p>	<p>—</p> <p>135人</p>

経営改革に当たって達成すべき数値目標

1 経営改善のための数値目標

(1) 目標の概要

利用料金収入の確保により収支を改善し、県民活動の支援に関する事業について令和6年度末に収支の均衡を図る。

※当法人は公益法人として収支相償が求められており、過年度剰余金の解消のため法人全体では経常利益を減少させざるをえない状況である。

(2) 目標達成に向けた取組項目、具体的な計画及び数値目標

取組項目 (県民活動総合センターの維持管理)	具体的な計画	数値目標
利用料金収入の確保 (宿泊)	企業研修、学校合宿等の誘致。	宿泊施設利用者数 10,000 人 (R4 実績 4,499 人)
利用料金収入の確保 (貸室)	法定講習、企業研修の誘致。 地元商工会、町主催事業等の誘致。	貸室利用者数 709,000 人 (R4 実績 447,331 人)
利用料金収入の確保 (講座・イベント)	いきいきフェスティバル、 けんかつサマーフェスティバル等の 自主イベントによる利用促進。	講座参加者数 9,000 人 (R4 実績 11,003 人) イベント参加者数 20,000 人 (R4 実績 8,075 人)

2 DXの推進等による生産性向上や経営効率化、サービス向上に資する数値目標

(1) 目標の概要

当法人のDX推進により、利用者のサービス向上及び職員の事務作業環境の効率化を図る。

(2) 目標達成に向けた取組項目、具体的な計画及び数値目標

取組項目	具体的な計画	数値目標
施設予約システムの 利便性向上	インターネットによる施設利用の申請 受付時間を24時間に延長することにより、 利用者の利便性向上を図る。	インターネットによる施設利用 申請件数 4,600 件(+2.2%) (R5:4,500 件)
事務室内の ペーパーレス化推進	事務室内の無線LAN(Wi-Fi)環境を 整備することにより、ペーパーレスでの 打合せを推進するとともにオンライン 会議の活用を図る。(R6.12~)	対前年度の印刷枚数 ▲3.0%
旅費精算システムの 電子化	システム導入により旅費精算を自動化 することで、紙の印刷枚数を縮減する とともに、集計作業の効率化を図る。	人件費 ▲124 千円